

# 木部

公共仕様No.  
DNT-改修・12-2-02

## 7章12節:ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) DNTウレタンスマイルクリーンクリヤー

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JASS 18 M-502 2液形ポリウレタンワニス	DNTウレタンスマイルクリーンクリヤー	F☆☆☆☆	塗料用シンナー

### 塗装仕様

表7.2.1 木部の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	-			スクレーパー、研磨紙等により、劣化部分を全面除去し、活膜は残す。
2 汚れ、付着物除去	-			木部を傷つけないように除去し、油類は、溶剤等でふき取る。
3 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			露出素地面、既存塗膜面を研磨する。

(注) 1.木部に新規に塗装を行う場合は、RA種(不透明塗料塗りの場合)又はRB種(透明塗料塗りの場合)とし、工程1を省略し、工程2と3の間にやに処理を行う。  
2.やに処理は、やにを、削り取り又は電気ごて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。  
3.ラワン、しおじ等導管の深いもの場合は、必要に応じて、工程2ののちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。

表7.12.1 ウレタン樹脂ワニス塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	DNTウレタン スマイルクリーン クリヤー	クリヤー	主剤90: 硬化剤10	5～10	刷毛	0.06	2時間以上
				10～20	スプレー		
2 研磨紙ざり	研磨紙P220～240						清掃後
3 中塗り	DNTウレタン スマイルクリーン クリヤー	クリヤー	主剤90: 硬化剤10	5～10	刷毛	0.06	2時間以上
				10～20	スプレー		
4 研磨紙ざり	研磨紙P240～320						清掃後
5 上塗り	DNTウレタン スマイルクリーン クリヤー	クリヤー	主剤90: 硬化剤10	5～10	刷毛	0.06	-
				10～20	スプレー		

(注) 1.一般木部及びフローリングは、1液形とする。  
2.JASS 18 M-502は、日本建築学会材料規格である。

### 7.2.2 木部の下地調整

- (a)木部の下地調整は表7.2.1により、種別は特記による。特記がなければ、RB種とする。  
(b)透明塗料塗りの下地調整は、RB種による。ただし、既存塗膜は全面除去する。また、必要に応じて、表7.2.1の工程を行ったのち、次の工程を行う。  
(1)着色顔料を用いて着色兼用目止めをする場合は、はけ、へら等を用いて、着色顔料が塗面の木目に十分充填するように塗り付け、へら、乾いた布等で、色が均一になるように余分な顔料をきれいにふき取る。  
(2)着色剤を用いて着色する場合は、はけ等で色むらの出ないように塗り、塗り面の状態を見計らい、乾いた布でふき取って、色が均一になるようにする。  
(3)素地面に、仕上げに支障のあるおそれがある基だしい色むら、汚れ、変色等がある場合は、漂白剤等を用いて修正したのち、水ぶき等により漂白剤を除去し、十分乾燥させる。

### 7.12.2 ウレタン樹脂ワニス塗り

ウレタン樹脂ワニス塗りは表7.12.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

#### 注意事項

- \* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。  
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。  
\* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。